

# FAB NIGHT HIROSHIMA 1st Step

*Yoichiro Watanabe*

---

*2013.11.23 Sat 18:30-22:00 @Cowoking Space Shake Hands*



# 自己紹介

ハイブリッドライフ実践者。ハイブリッド（複数の軸をもつ）ライフが不確かな未来を豊かに生きる手段と考え、電力（エネルギー）・物資・食物の自給自足をテーマに（ぼぼ）何でもつくるファブラボの創設を決意。つくる人を増やすことで社会好転を実現すべく孤軍奮闘中。

**なぜファブラボを？**



# アジェンダ

- 第一部：ファブラボ創設の動機
- 第二部：取り組み内容

この2点に絞ってお話させていただきます



# ファブラボ創設の決意は 日々のモヤモヤから生まれた

社員として社会  
に貢献する

一個人としても地域・  
社会と関わり好転す  
るような取り組みを  
したい



**Gap**

このGapを埋めるにはどうすれば良い？



# 自分の中にもう一本軸をつくる

サラリーマンとしての軸に加えて、もう一つ別の軸をつく  
くらなければならない

そのためには

自分に「何ができて」「何をしたいのか」、  
「どんなことにワクワクするのか」を知ることが必要

徹底的に自分自身と対峙し、価値基準を明確化



# パラダイムシフト ～ものづくりの個人化～



これまで限られた専門家のものであった「デジタル工作機械」がいま、個人のためのものとなり、家庭にやっつけてこようとしている

この時代の波の傍観者でなく、当事者、実践者として時代をつくっていく「挑戦者」でありたい

ものづくりを通じて社会と関わりをもち、  
社会好転を目指したい



第一部終了



第二部へ



# まず初めに

- このファブラボにどんな役割を持たせるのか
- そして、あらゆる活動のベースとなるコンセプト

**役割とコンセプトを明確にする活動（コンセプトワーク）  
を行った**



# 役割とコンセプトを決める



上段：

「過去・現在、取り巻く環境」を踏まえての現状分析

否定的な視点でものづくりを観てみる

下段：

「つくりたい未来（変えたい現状）」

→具体例紹介

上段から下段にシフトさせるのが役割



# 役割

年齢・性別・ものづくり経験の有無にかかわらず  
誰もがアイデアを形にできるテクノロジーに  
アクセスできるようにする

ミッション・コンプリートによりつくる人が増える



# コンセプト



アイデアを持ち寄ればそれが形になり、  
ものが人と人をつなぎ「つながり」を創造できる



# FabLab Hiroshima-Akitakata



- 安芸高田市
- 住居兼ガレージ  
発のファブラボ

慶応義塾大学SFCの秋吉さん  
とラボ建築で共創中

こんな人



作品

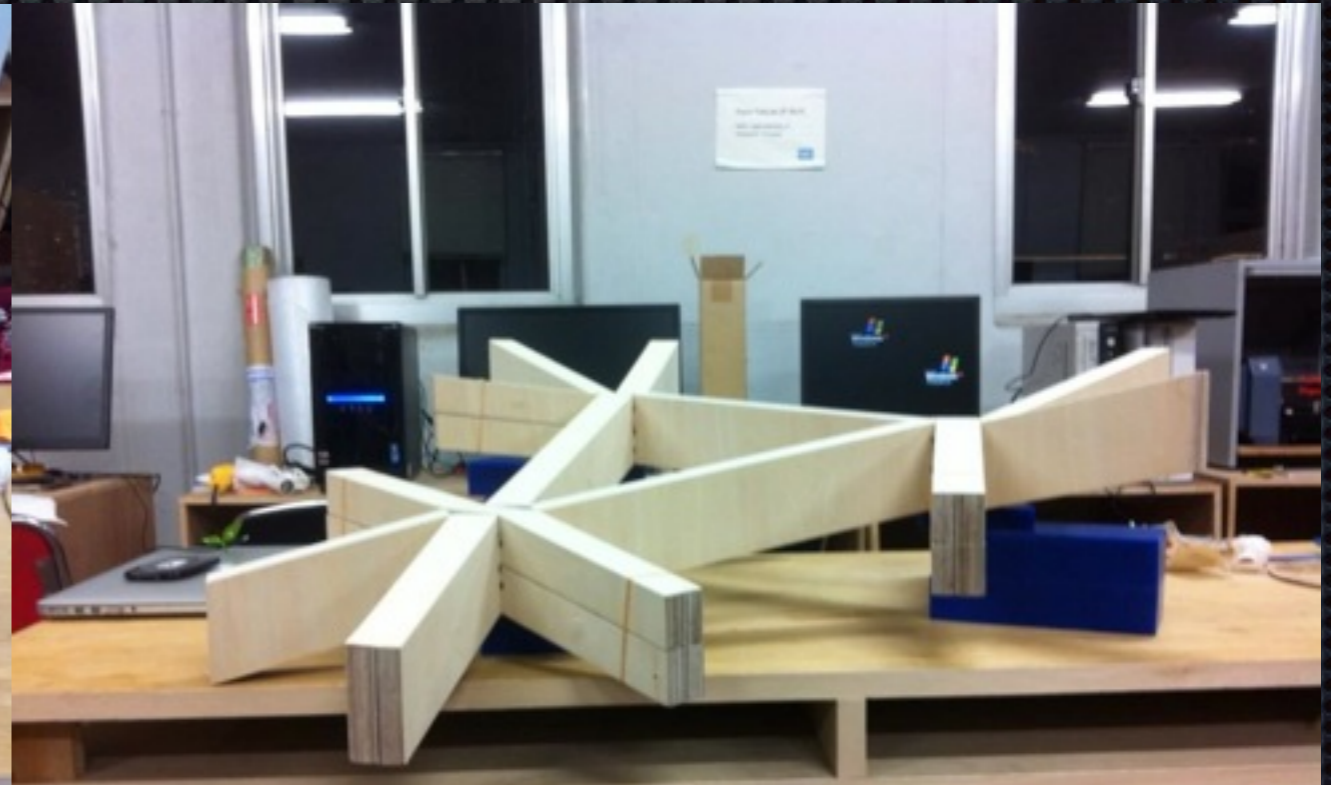


2014年1月末より着工予定



# 作品

# ハツメイ





おめでとうございます！誕生日プレゼントとして進捗をお伝えします。明日からSFCの研究発表会があり、ファブラボ広島の壁の生成に使用する木の組み手システムを発表します。

本研究では構造用合板を用い、自由曲面生成と人工物の新陳代謝の為に、新しい木造構法を提示しています。1つの単位繊維は、領域内に存在する3頂点が8個の角度データをアウトプットし、隣り合う3頂点から6個のデータをインプットしています。このように、隣接する6つの単位繊維との情報の送受信によって、曲面が生成されていきます。また、データは正・負（0/1）の値を持ち、これにより曲面・曲率が定義されています。さらに、各々の繊維は単体で取り外し分解が可能な為、破損・劣化の度に新しい単位に取り替える事が可能になっています。

**真に合理的な構築物とは、土地の環境や風土に馴染んだ形をしているのでは無いでしょうか？**



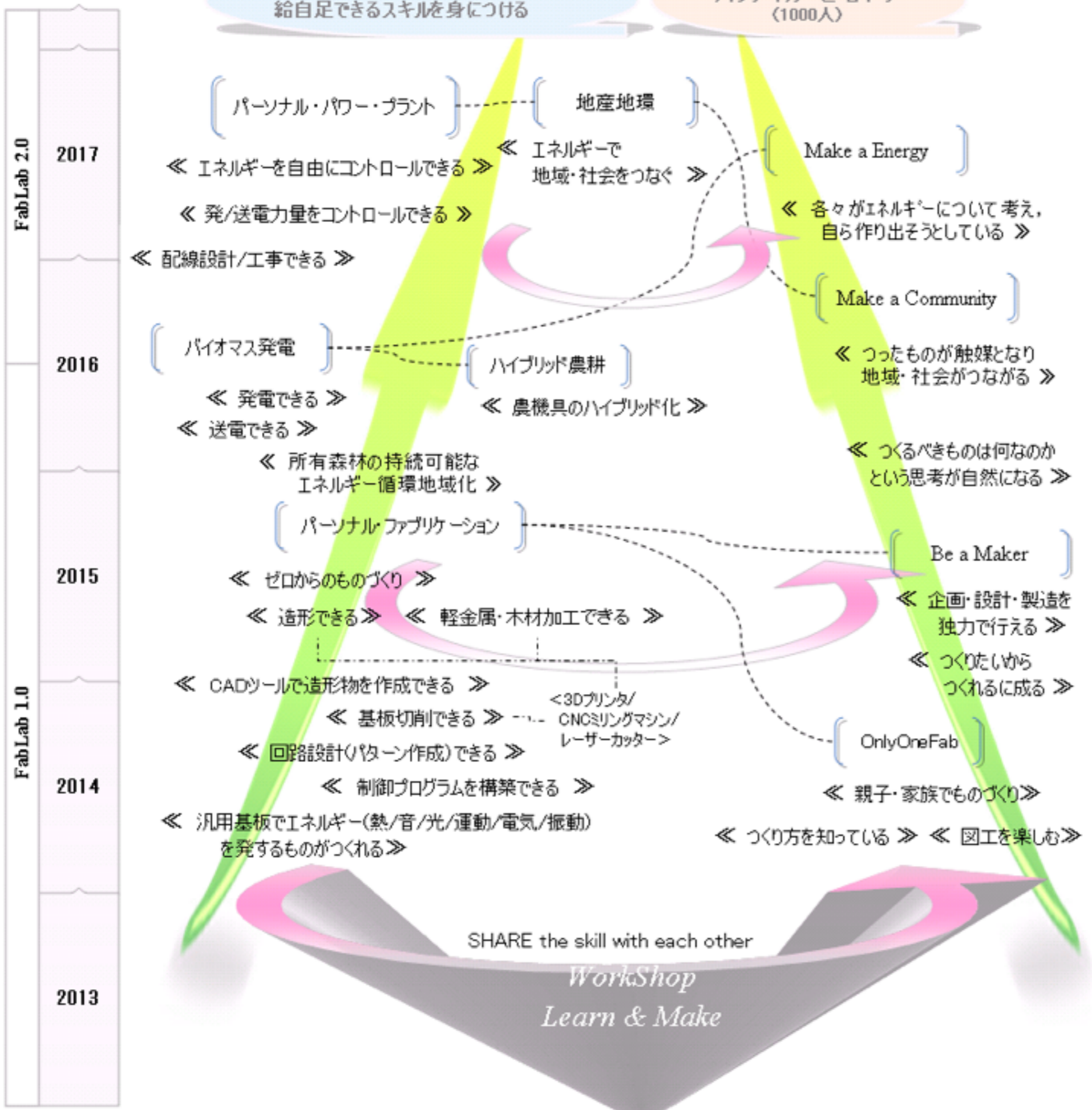
# 取り組み内容

- 電力（エネルギー）・物資・食物において  
ほぼ自給自足できるスキルを身につける
- ハツメイカーを増やす  
(ハツメイ + メイカー)

⇒RoadMap

上記2つのテーマを軸に活動していく





5年後の実現を目指す

ワークショップを通じてハツメイカーを増やす

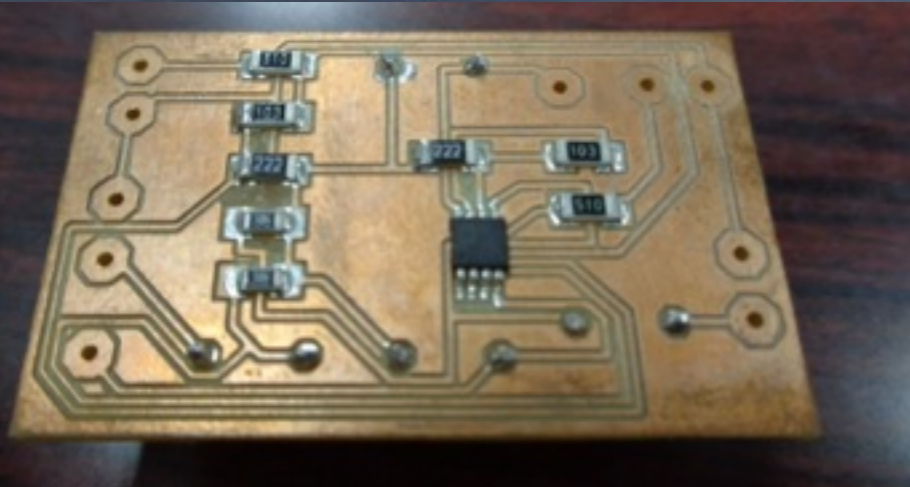


# 今後の予定

- 2014年3月プレオープン
  - ラボの建築、つくる技術の習得
- 「自分でつくる学校」を開講しワークショップ実施
  - ワークショップを通じてハツメイカーを増殖
- 食物・物資・エネルギーのほぼ自給自足に向けて段階的にスキルアップしていく



# 付録





ご清聴ありがとうございました